

教育委員会（ 1 月 ） 会議録						
招 集 年 月 日	令和 4 年 1 月 2 5 日（火）					
招 集 の 場 所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 2 階 会議室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 4 年 1 月 2 5 日（火） 午後 2 時 0 0 分				
	閉 会	令和 4 年 1 月 2 5 日（火） 午後 3 時 1 1 分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	平 林 豊	委 員	西 澤 み どり	委 員	松 沢 亨
	教育長職務代理者	幅 下 守	委 員	田 口 令 子		
事 務 局	教 育 課 長	横 川 辰 彦	子 育 て 支 援 課 長	下 川 浩 毅	生 涯 学 習 ス ポ ー ツ 課	松 澤 宏 和
	公 民 館 長	横 川 秀 明	教 育 指 導 員	塩 島 学	教 育 課 長 補 佐 兼 給 食 保 健 係 長	堤 則 昭

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和 4 年 12 月 定例会 会議録について

異議はなく承認された。

3 報 告

○教育長報告

1 月 7 日に、第 59 回全日本スキー技術選手権大会実行委員会が開催された。この大会は、3 月 3 日から 6 日まで八方尾根スキー場で予定されている。

11 日に、市町村教育委員会連絡会が開催された。

13 日に、第 100 回全日本スキー選手権大会クロスカントリー競技組織委員会が開催され、1 月 24 日から予定していた大会を 3 月 16 日からに延期した。

19 日に、市町村教育委員会連絡協議会理事会及び県教委との懇談会が Zoom で行われた。

令和 4 年度長野県市町村教育委員会研修総会は、10 月 21 日佐久平交流センターで開催予定である。また、新任教育委員研修は、8 月 24 日にハイブリッド型で予定しているそうですので、都合をつけ参加いただきたい。

県中の結果について、女子クラシカルで松沢さんが優勝、橋本さんが 2 位、高橋さんが 3 位、フリーでも松沢さんが優勝、橋本さんが 3 位、高橋さんが 4 位と上位を独占した。男子クラシカルでは花澤さんが 3 位、リレーでは女子が優勝、男子が 3 位と健闘した。ジャンプは西澤さん、ノルディックコンバインドは、糸氏さんが優勝した。全中での活躍にも期待している。

令和 4 年度長野県公立高等学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症などに係る対応として、試験前日正午までに PCR 検査の結果が陰性、当日も無症状で、公共交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて検査場まで移動できる場合は、濃厚接触者であっても検査を受けられることになった。

19 日に白馬中学校の教員 2 名が新型コロナウイルス感染症に感染したことから、学校保健安全法第 20 条の規定に基づき、20 日・21 日の 2 日間臨時休業とするにした。その後、教職員全員の PCR 検査を実施した結果、全ての教職員が陰性だったので、24 日から学校を再開している。

昨日、長野県は初めてとなる、まん延防止等重点措置を申請した。政府は、この 27 日から来月 20 日まで重点措置を適用する見込みである。

○教育課長報告

新型コロナウイルス感染症について、1 月 4 日から感染者が出始め爆発的に感染者が増えたが、感染は一

部飲食店を中心とした感染で、若い人同士の感染が主であった。従って小中学生への感染は、感染者数からすると少なかったという印象である。しかし、ここ数日は家庭内と思われる感染例が増えており、感染の傾向が変わってきたのではないかと感じられる。

現在患者として療養中の児童生徒は 9 名で、本日も無症状病原体保有者で 1 名が公表される見込みである。教職員は 5 名が療養中になっている。国、県の通達により学校の職員は事業継続のために濃厚接触者の自宅待機期間が短縮される対象となったため、今後は 2 回の検査により 6 日間待機とすることを計画しており、学校に通知すべく準備をしている。

また、全国、白馬村の状況から河津町、太地町との交流は中止となった。白馬南小ではオンラインで交流したと大糸タイムスに掲載されたとおりである。今後まん延防止措置が適用になると授業や行事が規制されることになるが、一定の基準を学校に示すために準備をしている。

なお、感染症が不安で自主的に休んでいる児童生徒は、本日、南小 0 人、北小 30 人、中学 61 人である。中学校は受験を控えている生徒や全中出場前の生徒はオンラインを選択している状況である。

○子育て支援課長報告

国の子育て世帯への給付金について、1 月 17 日までに先行給付金の申請があった世帯については、追加給付金を 1 月 28 日に支給する。追加給付金については 632 世帯、対象児童 1,096 人に、児童 1 人当たり 5 万円、総額 5480 万円を支給する。18 日以降の申請で、先行給付金がまだ支給されていない場合は、先行給付金と追加給付金併せて 10 万円を一括で支給する。

来年度の保育園の入園状況について、3 歳未満児 69 人、3 歳以上児 26 人の申し込みがあり、3 歳未満児については 62 人、3 歳以上児童については全員の入園を決定する方向である。そうすると 7 人が待機児童になるが、4 月 1 日には待機児童は 0 となる見込みである。7 人の待機児童はいずれも 0 歳児で、支援ルームの一時保育を案内する。

新型コロナウイルス感染症について、臨時会以降の保育園休園はないが、保護者や児童・職員が濃厚接触者に特定される例はあり、保健所に確認した中で休園の必要はないと判断して対応している。

○生涯学習スポーツ課長報告

体育施設の休館について、ジャンプ競技場、スノーハープ及び体育施設については、1 月初めに感染レベルが 5 になったことにより休館となっており、一般の方の利用は出来なくなっている。ジャンプ競技場、スノーハープはナショナルトレーニングセンターに指定されていることもあり、選手の練習のみ受け入れている。

スキー大会の延期について、まん延防止等重点措置の適用により、1 月から 2 月に延期となっていた白馬少年スキー大会は 2 月 20 日以降に延期して開催することとなった。日程調整がつかない場合は、開催が出来ない種目も生じる。

○公民館長報告

公民館講座の「白馬の歩み」「東山スノーシュー」「古文書講座」を延期または中止とした。

2 月に開催予定の子ども会育成会主催の「ノルディック子どもの日」は、開催日時未定で、2 月末から 3 月で実施する予定である。

令和 3 年度成人式は、3 月 20 日(日)開催予定で準備を進めている。2 月初めに該当成人者に出欠連絡する。

○学校の報告

1 月 18 日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、教育課長が報告した。

○保育園の報告

1 月 18 日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、子育て支援課長が報告した。

4 議事

○報告第 1 号 令和 3 年度白馬村子育て世帯等臨時特別支援事業(子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金))支給事務実施要綱の一部改正について

[子育て支援課長]

今回は追加給付金の支給に伴う改正となっており、題名にある「先行給付金」を削る。先行支給分 5 万円の要綱を改正して、追加支給分 5 万円を加えて、併せて 10 万円を支給する要綱となっている。施行期日は、公布の日から施行し、令和 4 年 1 月 11 日から適用する。また、経過措置として、改正前の先行給付金に係る要綱に規定する様式は、改正後も有効とする。

[教育長]

先行分はいつ支給したのか。

[子育て支援課長]

12 月 27 日に支給している。追加分は 1 月 28 日に支給する予定。

○報告第 2 号 令和 3 年度白馬村一般会計補正予算(第 8 号)教育関係予算について

[子育て支援係長]

先ほどの追加給付金に係る補正予算である。歳入では、追加給付金として 5,735 万円、事務費として 50 万円を計上しており、財源はすべて補助金である。歳出の事務費については、会計年度任用職員と職員の時間外手当 10 万円、消耗品代 1 万 5 千円、封筒印刷代 5 万円、郵送代 7 万円、追加給付に係る電算のシステム改修費 16 万 5 千円となっている。

○承認第 2 号 白馬村図書館等複合施設検討委員の委嘱について

[生涯学習スポーツ課長]

複合施設の場所を駅前から見直すということから、基本計画の見直しについて諮る委員会として、委嘱期間は令和 4 年 1 月 20 日から目的達成までとし、約 1 年間で予定している。委員数は 16 名で、内訳は、学識経験者 1 名、社会教育委員代表 1 名、保護者代表 2 名、学校関係者 1 名、福祉関係者 2 名、多文化共生関係者 1 名、中高生 4 名、一般公募者 4 名である。中高生の委員に対しては、各学校における意見の集約を求めず、一個人としての意見を伺う予定でいる。

[委員]

教育委員は、この図書館等複合施設の決定にどのように関わっていくことになるか。

[生涯学習スポーツ課長]

検討された内容について、この定例会等で報告していくことになる。

[教育長]

基本計画の見直しを、この検討委員会で審議してもらい、出された意見等を教育委員会でまとめる。最終的には見直し計画案として、総合教育会議に提案したいと考えている。

・全員賛成で承認された。

○承認第 3 号 白馬中学校の臨時休業について

[教育課長]

中学校の教員が 1 名陽性となり、1 月 15 日に県発表された。保健所によると学校関係での濃厚接触者はいないということであったが、その後 1 月 18 日・19 日と教員が立て続けに 2 名陽性となったので、教職員全員の PCR 検査を行なう必要があると判断し、接触者として保健所をお願いして検査を行なった。教職員全員の PCR 検査を実施することから、学校全体を閉鎖するものとして、検査結果が出るまでの 1 月 20 日・21 日の 2 日間を一斉臨時休業とした。21 日に検査結果で全員の陰性が判明したので、24 日の月曜日からは通常通り学校を再開している。教育委員会を開催する時間がなかったため、教育長の専決処分とさせていただいた。

・全員賛成で承認された。

5 その他

(1)大町市教育委員の異動について

(2)池田町教育長の異動について

(3)ノルディック複合エリートアカデミー構想について

[生涯学習スポーツ課長]

ナショナルトレーニングセンター機能強化ディレクターの森氏からの提案で、白馬にノルディック複合のエリートアカデミーを創設する構想が出ている。2017年以降ノルディック複合は、ドイツ・ノルウェー・オーストリアが主要大会の団体戦においてメダルを独占し、日本は4位に位置する状況である。エリートアカデミー創設の必要性として、日本国内では、多くの選手が高校卒業後に大学に進学するが、トレーニング環境が整っておらず、大学在学中に競技力が停滞してしまう傾向にあることから、日本にも海外のようなエリートアカデミーを創設し、学業と競技力強化を両立させる環境を整えて高校・大学生のアスリートを集めて育成することで、日本がメダルを獲得できる状態を目指したいというもの。また、白馬村に拠点を置く理由として、長野五輪の会場地であった白馬は、国際スキー連盟公認のジャンプ競技場とクロスカントリー競技場があり、ナショナルトレーニングセンター強化拠点にも指定されており、地域からオリンピック選手が多数輩出されているなど、受け入れ環境が整っていること、既に全国から生徒を募集している白馬高校の協力を得ることで、高校生の競技と学業の両立についても実現しやすいことが挙げられている。既に2020年8月に、大学生と高校生を招集し、エリートアカデミーのトライアルも実施しており、現時点では2023年4月の開校を目指し準備を進めている。対象とする選手は、高校生及び大学生とし、学年あたり男女合わせて2～3名以内を想定している。宿舎は白馬高校の寮とは別にアカデミーで確保し、コーチ・スタッフ等と共同生活を送ることとする。今後、一般社団法人を設立して、エリートアカデミーを運営していく方針であるが、財源確保が大きな壁となっており、資金獲得のためにスポンサー企業を募っている。協賛企業が集まらない場合には、開校を延期する可能性もある。今年の5月までには、開校の見通しを立てる予定で準備を進めている。

[委員]

1月3日の新聞に記事が掲載されたが、この件は以前から教育委員会事務局で練られていたのか。

[生涯学習スポーツ課長]

2年くらい前から話があった案件であるが、NTC機能強化ディレクターの森氏からは、12月に村へ構想についての説明があった。事前にお知らせする前に新聞記事での発表となり申し訳ない。

[委員]

白馬高校のスキー部全体が参加するということではなく、エリート数名を育成することが目的か。

[生涯学習スポーツ課長]

全日本スキー連盟の意向により、その様になる。地元スキー部との交流が全くないわけではないと思うが、一線を画してメダル候補を育成するための専門機関ということになる。

[委員]

エリート数名の育成だが、高校生の場合は白馬高校に入学するということか。

[生涯学習スポーツ課長]

そうです。

[委員]

今の白馬のノルディックコンバインドをやっている中学生の選手に進学先を聞くと、ほとんどが飯山高校を希望している。そんな状況の中で、エリートアカデミーの白馬高校を進学先として選択する子供がいるだろうか。

[生涯学習スポーツ課長]

生徒の選考は全日本スキー連盟の意向による。全国から逸材を見つけて交渉すると思う。

[委員]

集める生徒の目星はついているのか。

[生涯学習スポーツ課長]

ついていると思う。

[委員]

大学にも繋がっていくということか。提携する大学は決まっているのか。

[生涯学習スポーツ課長]

大学は決まっていない。

(4)学校給食食材納入仕様書の改定等について

[教育課長補佐]

昨今、トレーサビリティが話題になっているが、その点について明記するための改定となる。トレーサビリティにより食材の産地を明確にする。給食センターはトレーサビリティが義務付けられていないが、明確にしておくことは悪いことではないので、新年度に改定したい。

[委員]

産地を明確にするということであるが、使用した農薬や肥料等の情報も含まれるということか。

[教育課長補佐]

農薬や肥料については、生産者や事業者が把握しておくべきことで、何かあった時に示せるようにしておく。

[教育長]

食材を選別するにあたり、無農薬であるか、そうでないかということは関係ないということか。

[教育課長補佐]

そうです。基本的には予算の範囲内で必要な数量が確保でき、見栄えの良い物ということで、入札により単価が安い物が主となる。

(5)2月の日程について

次回定例会は、2月22日(火)午後2時から行う。

(6)その他

[委員]

大会週間期間中に白馬中の臨時休校があった。結局クロスカントリーは、県のスプリントと国体予選に出場せず、アルペンが国体予選に出場していた。飯山高校は休業していたから県大会に出場できなかったが、結局県高自体が中止になった。学校が休業している時の大会参加の基準はどのようになっているのか。

[教育課長]

中体連の大会については、中体連の取り決めの中で、学校が休業しているのに学校の活動をするのはいかなものかということで、出場できないということになっている。

[委員]

県大会への出場について、クロス部とアルペン部で差が出てしまった。出場については、校長判断なのか。

[教育課長]

現場の判断。中体連の大会については、学校が休業している場合には、部活動の延長である大会への出場はできないという取り決めになっているようだが、それについてどこに問題提起して良いのかわからない。

[委員]

今、オンライン授業も普及してきていることから、その基準も変えた方が良いように思う。スキー部が練習で学校に登校しなくても、自分のクラスがインフルエンザ等で学級閉鎖になれば、その生徒は出場できないことになる。全中について、陰性証明を出せば出場できるようだ。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	